



令和7年4月18日

担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

①

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 10歳未満 男性
届出年月日	令和7年4月14日
経過	4月5日（土）下痢、軟便 4月8日（火）水溶性下痢 血便 腹痛 医療機関受診 4月9日（水）医療機関入院 検便 4月12日（土）検便の結果 O157ペロ毒素（+） 主治医から届出 現在、退院し症状は治まっています。

②

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 10歳未満 男性
届出年月日	令和7年4月16日
経過	①の同居者 4月9日（水）下痢、腹痛 4月11日（木）医療機関受診 4月12日（金）水溶性下痢 腹痛 血便 医療機関入院 検便 4月16日（水）検便の結果 O157ペロ毒素（+） 主治医から届出 現在、退院し症状は治まっています。

プライバシーの保護については、十分にご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和7年4月16日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和7年	2名	3名（無症状者なし）	本患者含む
令和6年	11名（2名無症状者含む）	27名（11名無症状者含む）	
令和5年	15名（2名無症状者含む）	21名（3名無症状者含む）	

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生します。
- ・ 調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・ 食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が大切です。
- ・ 特に、小さなお子さんや高齢者、抵抗力が弱い方は重症化しやすいので、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないように気をつけましょう。
- ・ 腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。